

### 教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、[tsubaki.yuki1229@gmail.com](mailto:tsubaki.yuki1229@gmail.com) にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているので、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram [https://www.instagram.com/yuki\\_tsubaki2020/](https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/)

### この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きのように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げて暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

### 教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://timesofindia.indiatimes.com/world/rest-of-world/latin-america-mourns-worlds-poorest-president-mujica-dead-at-89/articleshow/121150215.cms>

[https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250514\\_10/](https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250514_10/)

<https://www.asahi.com/ajw/articles/15767600>

<https://www.bbc.com/news/magazine-20243493>

<https://mainichi.jp/english/articles/20250514/p2g/00m/0in/002000c>

<https://www.theguardian.com/world/2014/sep/18/-sp-is-this-worlds-most-radical-president-uruguay-jose-mujica>

<https://www.reuters.com/world/americas/rebel-prisoner-leftist-latin-american-icon-pepe-mujica-reflects-2024-05-25/>

[https://www.brainyquote.com/authors/jose-mujica-quotes?utm\\_source=chatgpt.com](https://www.brainyquote.com/authors/jose-mujica-quotes?utm_source=chatgpt.com)

<https://www.firstpost.com/explainers/jose-mujica-death-worlds-poorest-president-legacy-explained-13888404.html>

[https://www.yahoo.com/news/uruguay-declares-three-days-national-171210419.html?guccounter=1&guce\\_referrer=aHR0cHM6Ly93d3cuZ29vZ2x1LmNvbS8&guce\\_referrer\\_sig=AQAAAMphVdSCOINv8KkNTmfhNmIYCrHW-Pl-5j-IJYeVmBmUAzqarK-bBq2busuzFZA4bpcxBnVCmOqnK3QY5LtulQOIg3XOqehln4fhDDVAnBFJujKK70WoBmRog7uY6s\\_maFLhULYDXYAFXHcpS5uf4dxJJkGBIztjIDhf88ek3\\_L](https://www.yahoo.com/news/uruguay-declares-three-days-national-171210419.html?guccounter=1&guce_referrer=aHR0cHM6Ly93d3cuZ29vZ2x1LmNvbS8&guce_referrer_sig=AQAAAMphVdSCOINv8KkNTmfhNmIYCrHW-Pl-5j-IJYeVmBmUAzqarK-bBq2busuzFZA4bpcxBnVCmOqnK3QY5LtulQOIg3XOqehln4fhDDVAnBFJujKK70WoBmRog7uY6s_maFLhULYDXYAFXHcpS5uf4dxJJkGBIztjIDhf88ek3_L)

<https://www.theguardian.com/global-development/2023/dec/27/uruguays-green-power-revolution-rapid-shift-to-wind-shows-the-world-how-its-done>

## 1 ページ

Q1 He was the president of Uruguay. ※ウルグアイの場所を地球儀または世界地図で確認しましょう。

Q2 His nickname was “the world’s poorest president” because he lived a simple life.

Q3 (1)He lived on a small farm. (2)He drove an old car.

(3) He donated 90% of his salary to charity.

Q4 Because he thought living simply gave him more freedom and peace.

Q5 (He was the president) from 2010 to 2015.

Q6 ① 最低賃金を上げた。 ② 貧しい家族のための住宅補助プログラムを始めた。

Q7 It went down from 18.5% to 9.8%.

Q8 英語：Hydropower, solar power, wind power, biomass energy, and geothermal energy

日本語：水力発電・太陽光発電・風力発電・バイオマス発電・地熱発電

Q9 自然から作られるので、くり返し使えて、地球にやさしい。

★英語で答えるなら・・・Unlike oil and gas, renewable energy comes from nature, so it can be used again and again and is friendly to the Earth.

Q10 About 98% comes from clean energy now.

## 2 ページ

Q11 (解答例)

★Yes, I do. I think he was a good leader. He helped many poor people and promoted the use of renewable energy in Uruguay. など

Q12 (返信メールの解答例)

Yes, I think Mr. Mujica was a great president, too. I read a picture book about him.

About your questions,

1. Yes, I think Japanese leaders should also live simply like Mujica. It may help them think more about poor people.

2. In Japan, we use a lot of fossil fuels, but clean energy such as solar and wind power is growing.

(In 2022, fossil fuels like oil, coal, and natural gas made up 72%, and renewable energy made up 22%.)

※参考資料

<https://sustech-inc.co.jp/carbonix/media/power-plant-ratio-2024/>

## 3 ページ

1 ① but, though, though ② Though ③ but ④ Though ⑤ but

2 1) the kindest 2) The most important 3) the poorest

4) the simplest 5) the cleanest 6) the most 7) the best

## 指導の手引き

今週は「世界でいちばん貧しい大統領」として知られる、ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏を取り上げました。

5 月初旬、フランシスコ教皇の逝去に関するニュース教材を作成し、「教皇はバチカンの宮殿ではなく、質素な住まいで暮らしていた」というエピソードを、中高生に紹介しました。この話題を通じて、「国家のリーダーはどのような暮らしをすべきか」という問いに対して、生徒たちが強い関心を寄せるようになったのです。

ディスカッションに入る前に、私は次の 4 つの事例を写真とともに提示いたしました。

① 日本の首相公邸(石破首相が居住)

- ② アメリカのホワイトハウス(トランプ大統領が居住)
- ③ 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたムヒカ氏の質素な農場での暮らし
- ④ プーチン大統領の豪邸と、それを取材したナワリヌイ氏の獄中死(※この話題は 2024 年 3 月第 1 週の高校生向け教材で扱いました)

参考:[https://yuki-tsubaki-news.com/high\\_back\\_number/](https://yuki-tsubaki-news.com/high_back_number/)

生徒たちの意見は賛否に分かれ、非常に活発な議論が交わされました。

#### 【賛成(Yes)派】

- ・質素な暮らしを貫くリーダーは信頼できる
- ・節約された国家予算を、貧困対策や教育など公共の福祉に充てられる

#### 【反対(No)派】

- ・国家のリーダーは、常に暗殺などのリスクにさらされており、一定の警備体制と安全な住居が必要
- ・天皇陛下やイギリス王室のように、国の象徴の存在は、威厳ある住まいに住んで文化を表現すべき

ちょうどこのような議論を行っていた矢先の 5 月 13 日、ムヒカ氏の訃報が届きました。

生徒たちも「素晴らしい人を失ってしまったね」と、静かに語っておりました。

私の教室には、以前から絵本『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』(2016 年購入)があります。

参考:<https://amzn.asia/d/8859ynM>

この中に出てくる、「真の貧しさとは、お金や物を持っていないことではなく、持っていても満足できず、もっと、もっと…と欲しがること」というムヒカ氏の言葉は、私自身の胸にも深く響きました。

私のスクールで使用している「英語ことわざカルタ」の中にも、“*The more you get, the more you want.*” という一枚があります。

このカードには、札束に囲まれて太っている男性のイラストが描かれており、

それを見た小学生たちは、「こんな欲ばりな生き方はしたくないなあ」とつぶやきます。

ムヒカ氏が語る「真の貧しさ」と、このことわざには、深い共通点があり、子どもたちの心にも届いているように感じました。

この絵本は、小学生クラスで時折読み聞かせていたこともあり、小・中学生の中には、ムヒカ氏の顔を見覚えていた子どもおり、「この大統領さん、亡くなったんだね……」と、ぽつりと話してくれました。

また、10 年ほど前に私が読んだノンフィクション『ホセ・ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領』(角川文庫)も、今回の教材作成に大いに参考になりました。

参考:<https://amzn.asia/d/2njU59z>

この書籍の原題はスペイン語で “Una oveja negra al poder” ——直訳すれば「黒い羊が権力の座に就く」。

英語でいう *a black sheep in power*、すなわち「異端児が政治のトップに立つ」という、非常に象徴的な意味を持ちます。

ムヒカ氏は、若き日にはゲリラ活動に身を投じ、13 年間も獄中生活を送っています。

孤独な歳月の中で、彼は「消費主義から距離を置いた、シンプルな生き方」に価値を見出したと語っており、

大統領在任中に、再生可能エネルギーによってウルグアイの電力の 98%をまかなうという偉業を見事に達成しました。

※余談ですが、私は時々、塾の中学生に社会を教えています。

「日本の電力」「発電にはどのような種類があるか？」を地理の授業で学ぶのは、中学 2 年生です。

このムヒカさんの教材で英語の授業をしている時、「再生可能エネルギー、5つを言ってみよう!」とクイズを出すと、中 2 の生徒さん達は(ちょうど 6 月の中間試験の範囲だったようで)、生き生きと答えてくれました。

「社会が得意な人は、英語も伸びます!」と、日ごろから生徒さんたちに話すようにし、社会科が得意な生徒には「英語もどんどん伸びそうだね!」と励ますようにしています。

私は以前から、彼の生き方を通して、国家リーダーとしての資質や倫理を生徒たちに伝えたいと考えており、今年ようやく、その思いを教材として形にすることができました。

(2016 年のムヒカさん来日時にも、教材を作成しましたが、その頃はまだ手書きでの制作でした。)

ムヒカ氏の生き様は、単なる一国の元首としての物語にとどまらず、

「真の豊かさ」や「人としての生き方」を問い直す大きなメッセージを私たちに届けてくれています。

近年、「SDGs」への理解を深めている現代の中学生たちは、

ムヒカ氏のような人物に出会うことで、より深い尊敬の念を抱くようです。

彼らの素直で誠実な心が、この教材を使って下さる先生方の、熱意と魅力にあふれる授業を通してさらに大きく育っていくことを願ってやみません。